

## 【アメリカ】下院外交委員会の公聴会における日米韓及び日米比三か国間関係に関する国務副長官の証言

海外立法情報課 渡辺 広樹

\* 2024年9月18日に下院外交委員会が開催した公聴会における、バイデン政権下の日米韓及び日米比三か国協力並びに日本が参加する多国間の枠組みの発展に関する証言等を紹介する。

### 1 公聴会の概要

2024年9月18日に下院外交委員会が開催した「インド・太平洋における大国間競争（Great Power Competition in the Indo-Pacific）」と題された公聴会において、カート・キャンベル（Kurt M. Campbell）国務副長官が日本を含むインド・太平洋諸国と米国との関係について証言した。

### 2 事前質問事項への回答の概要

キャンベル国務副長官は、東欧及び中東における戦争や危機に直面しても、米国によるインド・太平洋の重視は持続的なものであると述べた<sup>1</sup>。そして、その持続性は計画されたものであるとした上で、その理由を次のように説明した。米国は、強化された二国間関係の上に、共通の課題への対処、資源の動員及びより野心的な目標の達成を目的とした、同志国（likeminded countries）間の接続されたパートナーシップによる格子細工（a latticework）を構築している。これには、AUKUS（米英豪安全保障協力）、QUAD（日米豪印戦略対話）、日米韓及び日米比三か国協力のような、創造的な「ミニラテラル」<sup>2</sup>パートナーシップに加え、対話やNATO（北大西洋条約機構）のインド・太平洋パートナーを通じた、欧州とインド・太平洋のつながりの強化に向けた取組が含まれる。

日米韓三か国関係の歴史的な進展の一例として、2023年の夏にバイデン（Joe Biden）大統領（当時）がキャンプ・デービッドに日本の岸田（文雄）内閣総理大臣（当時）と韓国の尹（錫悦）大統領を迎え、（日米韓）三か国が人権とジェンダー平等の擁護及び促進、経済安全保障及びエネルギー安全保障の強化、そしてサプライチェーンの回復力、気候危機、人的結びつき及びグローバルヘルスなどの問題への対処、そして三か国による安全保障協力の拡大に向けて協力するという野心的な誓約を交わしたことを取り上げ、（日米韓）三か国間の協力が、今日の課題に対処するために不可欠であるのみならず、豊かな未来への基盤を築くものであると信じていると述べた<sup>3</sup>。また、2024年4月11日に初めて開催された日米比首脳会合につい

\* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2025年1月14日である。

<sup>1</sup> “Written Testimony for Deputy Secretary Campbell “Great Power Competition in the Indo-Pacific,”” pp.2-5. House Foreign Affairs Committee website <<https://docs.house.gov/meetings/FA/FA00/20240918/117656/HHRG-118-FA00-Wstate-CampbellK-20240918.pdf>> 以下、本節の記述については同じ。

<sup>2</sup> 米国を中心とした同盟の参加国に加え、公式には同盟を締結していない、より中立的な国々も内包する協力枠組みを指す。佐竹知彦「2022年 我が国安全保障の視座④ インド太平洋におけるミニラテラリズムの台頭」『NIDS コメンタリー』第225号、2022.5.31. <<https://www.nids.mod.go.jp/publication/commentary/pdf/commentary225.pdf>>

<sup>3</sup> 尹錫悦大統領による非常戒厳の発令を受けて開催された韓国外相との電話会談においても、アントニー・ブリンケン（Antony Blinken）国務長官が日米韓三か国間による協力関係の重要性に再度言及している。U.S. Department of State, “Secretary Blinken’s Call with Republic of Korea Foreign Minister Cho.” December 5, 2024. <<https://www.state.gov/secretary-blinkens-call-with-republic-of-korea-foreign-minister-cho-4/>>

でも触れ、基幹技術及び新技術の開発を目的としたルソン経済回廊<sup>4</sup>を立ち上げ、地域の平和及び安全保障を支援するためのパートナーシップ（の重要性）を再確認したと述べた。

さらに、キャンベル国務副長官は、太平洋における優先事項を支持する取組を強化するために、米国が「ブルーパシフィックにおけるパートナー<sup>5</sup>」を立ち上げ、現在はオーストラリア、日本、ニュージーランド、英国、カナダ、ドイツ、そして韓国もそれに参加していることを取り上げた。加えて、米国が NATO とインド・太平洋のパートナー（オーストラリア、ニュージーランド、韓国及び日本）を結集させ、共通の世界的課題に協力して取り組んでいると報告した。また、キャンベル国務副長官は、オーストラリア、日本及び韓国などの主要な世界的パートナーとの協力が、クリーンエネルギーへの移行に不可欠な重要なサプライチェーンを強化すると述べた。

### 3 公聴会における質疑応答

ジェリー・コノリー（Gerry Connolly）議員（民主党）は、敵対国同士とまでは言わずとも、歴史をめぐる理由から互いに不信感を抱き、協力が非常に困難だった二つの国（日韓）をまとめ、日韓の二国間協力協定を作り上げたことは、我々（民主党）の政権下で行われたことであるかという点について確認を求めた<sup>6</sup>。キャンベル国務副長官は、それは（日米韓）三か国間（の合意）であると訂正しつつも、同見解を支持した。さらに、（日韓）両首脳に対するバイデン大統領の関与の仕方が、率直に言えば彼らの快適な領域（comfort zone）から幾分か外れたものであり、彼らに政治的に受け入れ難いことを押し付けていたところを個人的に目撃したとも明かした。そして、究極的には尹大統領と岸田内閣総理大臣のリーダーシップによるものであったとしつつ、バイデン大統領も大きな役割を果たしたと述べた。

シドニー・カムラガー・ダヴ（Sydney Kamlager-Dove）議員（民主党）は、北朝鮮がウラン濃縮施設の画像を公開した上、（公聴会の）前週には弾道ミサイルの実験を二度行うなど、核による挑発を強めていると述べた上で、北朝鮮とロシアの協力強化が、北朝鮮による緊張激化の試みに関する計算に与え得る影響について質問した。それに対し、キャンベル国務副長官は、北朝鮮とロシアの連携に懸念を示しつつ、それが（北朝鮮とロシアの）両国を付け上がらせ、より挑発的な行動に駆り立てかねないとの見解を示した。そして、その問題に対する最適解は、日米韓の三か国間のより深い協力の一言に尽きると訴えた。その後、キャンベル国務副長官は、（米軍の）前方展開、（米国による）関与並びに同盟国及びパートナーとの協力に基づく抑止の実行を通じた（米国の）決意のメッセージは、北朝鮮も誤解のしようがないと考えていると締めくくった。

<sup>4</sup> キャンベル国務副長官は本イニシアティブの目的を、「鉄道、港湾の近代化、クリーンエネルギー及び半導体のサプライチェーン並びに開発、そして農業ビジネス等の影響力の大きいインフラプロジェクトへの協調投資を加速させ、フィリピンの経済的連結性と経済成長を促進することで、世界のサプライチェーンを強化すること」であると説明している。“Written Testimony for Deputy Secretary Campbell “Great Power Competition in the Indo-Pacific,” *op.cit.*(1), p.5.

<sup>5</sup> 外務省は、このイニシアティブを「太平洋島嶼国への支援を効果的かつ効率的に行うために各国のアプローチを調整するイニシアティブ」であると説明している。「太平洋島嶼国との協力に関する「ブルーパシフィックにおけるパートナー（Partners in the Blue Pacific）」高級実務者会合（結果）」2022.6.25. 外務省ウェブサイト <[https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press1\\_000941.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press1_000941.html)>

<sup>6</sup> “Great Power Competition in the Indo-Pacific,” September 18, 2024. House Foreign Affairs Committee website <<https://democrats-foreignaffairs.house.gov/hearings?ID=3EBC062D-4236-42FB-8325-D9C64A65F231>> 以下、本節の記述については同じ。公聴会の議事録は、有料データベースの ProQuest Congressional のものを適宜参照した。